

はじめに

平成25年第1回倶知安町議会定例会の開会にあたり、町政執行の基本方針及び施策の概要について申し述べ、議員各位をはじめ、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

我が国経済は、他国に例を見ない急速な少子高齢化や公債費残高の累増によって社会保障給付費や国債償還費は増加の一途をたどり、財政運営はより一層の厳しさを増しております。

このような中、国においては昨年末の衆議院議員総選挙で自由民主党が圧倒的多数の議席を獲得し、政権交代が行われました。新政権は、日本経済再生に向けては、「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」を一体として実行していくこととし、その第一弾としての「日本経済再生に向けた緊急経済対策」に基づく平成24年度大型補正予算と平成25年度予算は一体的なものとして、いわゆる「15カ月予算」として編成する一方で、財政健全化目標を見据え、「復興・防災対策」「成長による富の創出」「暮らしの安心・地域活性化」に重点化したところですが、その緒に就いたばかりであり、依然として経済の先行きは不透明な状況です。

長引く経済の低迷から、地方自治体の置かれている状況は、財源確保や地方の自立など、依然厳しい行財政運営を迫られて

おります。

このような状況下において、まず、地方自治体として、将来に持続可能で健全な行財政基盤を構築することを基本として、町民主体のまちづくりを進めるため、町民と行政が知恵を出し合い、協働の精神で各種施策を推進していくことが重要であると考えております。

きわめて混沌として将来が不透明な時代にあり、本町においても急速に進む少子高齢化社会の中で、福祉、医療、保健など社会保障関連経費の負担が増加する一方で、子育て、教育環境の整備、環境保全、地域産業の充実・振興対策など未来に向けた新たな課題にも取り組んでいかなければなりません。

こうした環境下を認識しつつ、未来を見据えて、本年度は、町民の皆さまが安心して暮らせる生活を守るため、直面する地域医療体制の確保に全力を注ぐとともに、未曾有の被害をもたらした東日本大震災を教訓に、災害に強い、安全なまちづくりを進めるための防災対策を重点課題として、各種施策に取り組んでまいります。

ここで、平成25年度の町政執行にあたり、私の基本姿勢と重点施策について申し上げます。